環境保全センター活動報告（2020年4月～2021年3月）

【報　告】

1.　センターの主な活動記録

5月14日　　無機系廃液（水銀系を除く）委託（5/13収集分）

6月17日　　PRTR報告

6月18日　　水銀等貯蔵量報告

7月8日　　不・難燃性溶媒類及び廃油類、定着液収集及び委託（搬出7/28）

7月16日　　大学等環境安全協議会実務者連絡会　（オンライン、河崎出席）

7月16日　　第38回大学等環境安全協議会総会・研修発表会　（～17日）
（オンライン、池本、花本、河崎出席）

7月16日　　無機系廃液（水銀系を除く）委託（7/15収集分）

10月1日　　無機系廃液（水銀系を除く）委託（9/30収集分）

10月22日　無機系廃液（水銀系を除く）委託（10/21収集分）

11月5日　　無機系廃液（水銀系を除く）委託（10/28、11/4収集分）

11月26日　大学等環境安全協議会実務者連絡会
（オンライン、河崎出席）

11月26日　　第36回大学等環境安全協議会技術分科会　（～27日）
（オンライン、池本、花本、河崎出席）

12月9日　　不・難燃性溶媒類及び廃油類収集及び委託（12/18日）

12月28日　無機系廃液（水銀系を除く）委託（12/9、12/23収集分）

1月28日　　無機系廃液（水銀系を除く）委託（1/27収集分）

※有機系廃液（廃溶媒類、希薄有機水溶液）は月に1～2回の頻度で収集・処理委託を実施

2.　学内講習会等

- 化学物質に関する講習会

前期　オンライン講習会（教材：令和元年度に実施した「化学物質管理に関する講習会」動画）

後期　オンライン講習会（教材：令和2年度に作成した「化学物質管理に関する講習会」動画）

- 廃液処理講習会等関係

9月28日　　薬学部（２年生対象）　担当（花本）

3.　学内関連委員会等

- 環境保全センター会議

第 1 回　5 月書面

- 環境調査チーム会議

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として，環境調査チームによる化学物質に対する現地調査は実施せず，本会議も開催しなかった。

- 環境調査チーム現地調査

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として，本調査は実施しなかった。

- 環境マネジメント委員会

第23回　12月書面　第24回　12月18日　第25回　2月書面

- 環境報告書編集小委員会

第 1回　4月書面

- 安全衛生マネジメント委員会

第 1回　5月27日　第 2回　11月 9日　第 3回　3月15日

- 環境保全センター打ち合せ

第 1回　4月14日　PRTR，水銀保管量調査依頼について、他
第 2回　6月23日　GC/MSの不具合について、他
第 3回　7月9日　環境報告書について、他
第 4回　7月30日　角間南排水モニター槽でのVOC測定の必要性について、他
第 5回　8月27日有機廃液の処分費・運搬費（令和2年10月～令和3年9月）について、他
第 6回　9月24日化学物質管理講習会について、他
第 7回 10月 22日　化学物質管理講習会について、他
第 8回　11月12日　角間南排水モニター槽でのVOC測定について、他
第 9回　12月 3日　化学物質の管理徹底に関する学内周知について、他
第10回　1月 7日　化学物質管理講習会（オンライン）について、他
第11回　2月2日　化学物質管理システムの移行について、他
第12回　3月 2日　化学物質管理システムの移行について、他

4.　研究教育活動

(1) 研究活動

- 研究費

科研費 国際共同研究強化B

「英国テムズ川における抗生物質の水環境中動態のモデル化」（平成30～令和2年度、花本分担）

科研費 若手研究

「畜産地域における動物用医薬品の排出・流出モデルの構築」（平成31～令和2年度、花本）

クリタ水・環境科学振興財団 国内研究助成

「国内河川における動物用医薬品の濃度予測モデルの開発」(令和2年10月～3年9月, 花本)

- 査読付論文

Hanamoto, S.; Yamamoto-Ikemoto, R..; Tanaka, H. Predicting mass loadings of sulfamonomethoxine, sulfamethoxazole, and lincomycin discharged into surface waters in Japanese river catchments. Science of The Total Environment, 2021, 776, 146032

Zhao, B.; Nakada, N.; Hanamoto, S.; Zhang, L.; Wong, Y. Modeling in-stream attenuation of N-nitrosodimethylamine and formaldehyde during urban river transportation based on seasonal and diurnal variation. Environmental Science and Pollution Research, 2021, 28(9):10889-10897

Yang,Y.; Xue, T.; Xiang, F.; Zhang, S.; Hanamoto, S.; Sun, P.; Zhao, L. Toxicity and combined effects of antibiotics and nano ZnO on a phosphorus-removing Shewanella strain in wastewater treatment. Journal of Hazardous Materials, 2021, 125532

- 著書(分担執筆)

Hanamoto, S., Attenuation and fate of pharmaceuticals in river environments. in: resilience, response, and risk in water systems. (Kumar, M., Munoz-Arriola, F., Furumai, H., Chaminda, T. Eds.), 2020, Springer Nature, Singapore. 241-60. [ISBN: 978-981-15-4668-6]

- 国際シンポジウム発表

Hanamoto, S., Measurement and prediction of annual mass flows of veterinary antibiotics in the Oyodo River. EETP Symposium on Regional Environment Sustainable Development, March 5th 2021, online

Tanaka H.; Ihara, M.; Yamashita, H.; Hanamoto, S., Prediction and management of emerging chemicals in the water environment. The 22nd UK-Japan Annual Scientific Workshop on Research into Environmental Endocrine Disrupting Chemicals and Chemicals of Emerging Concern, October 26th 2020, online

● 国内学会発表

花本征也; 池本良子. 大淀川における動物用医薬品の通年調査と排出量予測. 第55回日本水環境学会年会, 2021年3月12日, オンライン

(2) 教育活動

共通教育科目

「大学・社会生活論（環境論）」 分担（花本, Q1・1コマ）

「プレゼン・ディベート論（環境論）」 分担（花本, Q1・1コマ）

GS科目

「環境学とESD」 担当花本（Q3・16コマ, Q4・16コマ）

専門科目

「課題探究ゼミナールI」（理工学域物質化学類） 分担（花本, Q3・1コマ）

「安全化学」（理工学域物質化学類） 分担（花本, Q3・1コマ）

大学院科目

水環境保全工学 分担（花本, Q1-2・1コマ）

環境・エネルギー工学総論A 分担（花本, Q3-4・1コマ）

5 環境保全センター人事について

4月1日 センター長 池本 良子 着任